

取組概要

令和6年1月12日

埼玉県立大学 学長様

候補者 所属学科 健康開発学科
氏 名 高橋 宏至

私の取組は次のとおりです。

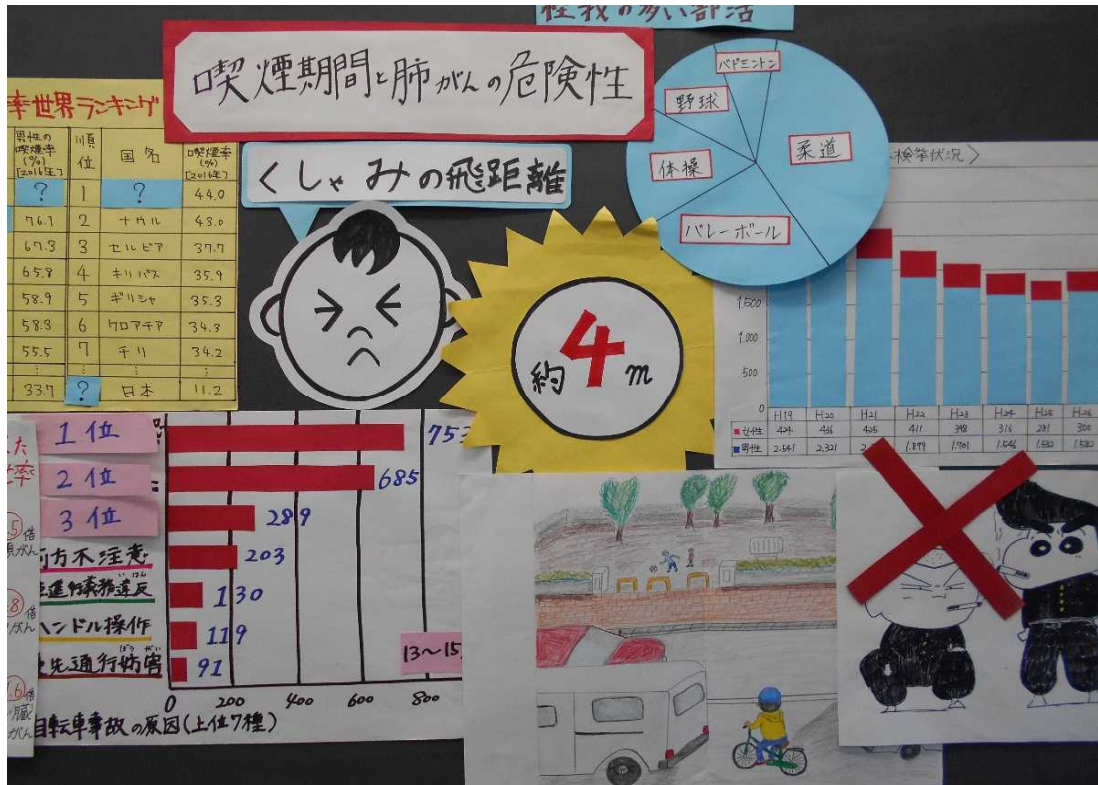
授業では「わかる」「できる」「かかわる」を大切にしています。私の授業を受講する学生の多くは教職を目指す学生です。将来小・中・高・特別支援学校等の養護教諭としていつも配意しなければいけない事を指導しています。私たちは正しい知識のもとで正しい意思決定と行動選択ができるものです。児童生徒は、「わかっているけど、できない」事もあり、「わからなくても、なんとなくできる」事もあるという事です。養護教諭は保健教育にあたります。私が受け持つすべての授業では「わかって、できる」授業や児童生徒の側に立った特別活動、教育相談、保健室経営ができる養護教諭となる事を目指しています。そのために、より良い教師とはどのような教師なのかを学生に考えさせます。授業づくりや保健教育を実践する中で教職の魅力を知り、学生の主体性を生かし伸ばすことにより、結果として学生は教師になる意欲が増したと考えています。

また、授業の成否の一つに教材づくりがあります。私の授業では、たとえ講義であっても教材を用意しなかった事はありません。私が受け持つすべての授業では事前に教材研究をし、その都度、何らかの教材を学生に提示し、思考判断し、自分の考えを発表したりするペア学習やグループ学習を積極的かつ常態的に実施することで他の意見を聞いて自分の考えを修正する力を身につけさせました。このことは、新学習指導要領で目指す「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」の具現化であると捉えています。本学の学生が教職に就いた時、他校の学生より「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業実践と保健室経営、教育相談等ができると確信しています。

さらに、教職を目指す学生には「かかわる」を意識させました。「かかわる」には、先生とのかかわり、児童生徒同士のかかわり、教材や場所などのかかわりがあります。養護教諭として大切なこれら3つのかかわりを意識させて、より良い養護教諭になってもらうことが私の願いです。

私は長く教職に身を置いてきました。私は、できるだけ多くの学生に教職の魅力を伝え、教職に就いてもらいたいと思っています。そして10年後、20年後の「未来を創る子どもたち」を育ててもらいたいと熱望しています。

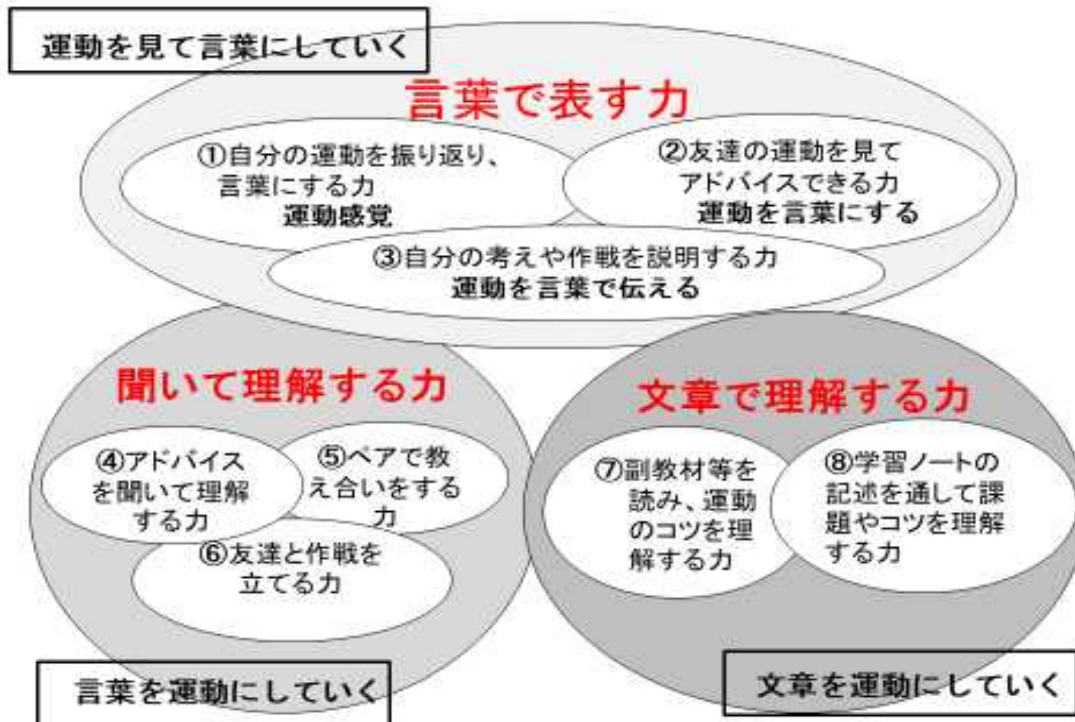
学生が作成した保健学習教材



学生が作成した大学周辺の地域安全マップ



児童生徒の言語活動について考える



教師の言葉かけについて考える

どのような声かけがあるのか

(表3 ことばかけの分類)

発問		個人やグループに対して考えさせ、問題を解決させる 例：「手の振り方はそれでいいのかな」 ：「この運動で大切なところはどこかな」
肯定的ことば	一般	生徒の技術や出来ばえを一般的なことばでほめる 例：「いいね」、「うまい」、「いいぞ」 ：「ナイスシュート」
	具体	生徒の技術や出来ばえを具体的なことばでほめる 例：「手の着く位置が前になったね」 ：「足首がしっかり伸びていて、いいキックだ」
矯正のことば	一般	生徒の技術や出来ばえを一般的に矯正することば 例：「もうちょっとだな」、「まだまだ」 ：「うーんどうかな」
	具体	生徒の技術や出来ばえを具体的に矯正することば 例：「腕の振りを、もっとまっすぐにしてみて」 ：「手の平をしっかりと前に着くように」
否定的ことば		生徒の技術や出来ばえを否定することば 例：「だめだな」、「そんなやり方ではうまくならない」 ：「なんだそれは」、「そんなことはいっていいぞ」
励まし・気合い		生徒の課題達成や技術の習得のために意欲を喚起させるようなことば 例：「がんばれ」、「いけいけ」、「よーしやろう」

楽しい授業、楽しくない授業を考える

楽しい授業とは

- (1) 話し方がうまく、わかりやすい。
- (2) むずかしいことを身近な具体例をあげ、わかりやすく説明してくれる。
- (3) 学習の到達目標(めあて)を明確にして勉強させてくれる。
- (4) 機会を逃がさず指導してくれる。
- (5) 厳しいけれど「やった」という気持ち(成就感)を味わわせてくれる授業。
- (6) どの生徒にも熱心に教えてくれる。
- (7) 一人一人を温かく理解し、指導もていねい。
- (8) 知識が豊富で、指導方法もうまく、自然と夢中になって学習に取りくませてくれる。
- (9) やさしく、明るく、親しめる。
- (10) 復習より予習を強制されたが、授業内容がよくわかった。
- (11) ひとりよがりではなく、児童・生徒の立場に立った授業。
- (12) わかる授業を展開できる指導技術。
- (13) 教師自身の人柄や情熱。

楽しくない授業とは

- (1) 一方的に教え、進み方が速すぎる。
- (2) 説明や板書がへた。
- (3) 内容がむずかしすぎる。
- (4) 指導力が不足で、授業が成り立たない。
- (5) 不熱心で、指導に対する反省も工夫もない。
- (6) 授業がおもしろくなく、生徒を統制していく力もない。
- (7) 教科書だけにとらわれる。
- (8) 教科の力がなく、ガイドを頼りに教える。
- (9) できる子や特定の子を偏愛する。
- (10) 思いやりや愛情に乏しく、子ども理解が身についていない。
- (11) 授業の下手な教師ほど、自分自身に問題があることに気づかず、叱ってばかりいる。
- (12) 教育に対する信念や熱意が感じられず、人間的な魅力にも乏しい。